

平成30年度再評価対象事業
(対象：平成25年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課)
	再評価時点 H25	晴気川 河川整備交付金事業(総合流域防災事業)	○本事業区間は、平成2年7月の集中豪雨による浸水被害を始めとして、たびたび洪水被害に見舞われている。このため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 ○河道計画の概要 計画流量 100m ³ /s 計画治水安全度 1/2	全体事業費：C=26億円 工期：H15～H34 改修延長：L=2,610m 事業内容：掘削・築堤 護岸、橋梁5橋、堰5基、樋管4基、サイフォン1基	峰川合流点下流が概ね改修済みである。 (H24末進捗率 66%) (年平均進捗率6.6%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 1,393戸 浸水面積 624ha (地域の状況) 上流の小城市内では、宅地化が進んでいるとともに、小学校や幼稚園、病院等の施設が存在する。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算定した。 (B/C) = 5.3	・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用	事業採択後10年が経過	継続
	現時点 H30	晴気川 河川整備交付金事業(総合流域防災事業)	○流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 ○河道計画の概要 計画流量 100m ³ /s 計画治水安全度 1/2	全体事業費：C=29億円 工期：H15～H34 改修延長：L=2,610m 事業内容：掘削・築堤 護岸、橋梁5橋、堰5基、樋管4基、サイフォン1基	今年度、計画治水安全度1/2での暫定改修完了予定。 (H29末進捗率 90%) (年平均進捗率6.0%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 特になし	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算定した。 (B/C) = 4.8	同上	再評価実施後5年が経過	平成2年等の洪水被害を軽減するために、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上させ、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等			砂層での湧水対策に伴う仮設費用の増加での事業費の増			前回再評価時と比較し、全体事業費の増によりCが増大し、費用対効果(B/C)の減となった。			

